

K-ABC 中央事例研究会のご案内

過ぎ行く春が惜しまれる頃となりました。会員の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。さて、今年度第1回中央事例研究会のご案内をお送り致します。KABC-IIの検査結果の分析や解釈、支援への活用についての研修会です。今回は、申し込みは必要ございません。また、非会員の方も参加いただけます。ぜひご参加ください。

なお、本事例研究会で学校心理士更新ポイントB1のポイントを申請中です。

記

日時 : 2024年5月24日(土) 14:30~16:30

場所 : 『アトラスタワー 茗荷谷』 3階 図書文化社 301大会議室

発表者 : 白府士孝 先生(函館短期大学)

テーマ : 通常級に在籍する同時処理優位の小4児童への英単語読み指導

~聴覚ワーキングメモリに配慮したフォニックスのアイデアを生かした試み~

概要: 本児は、小学校入学時から通常学級に在籍してきたが、学年が進むにつれて学習内容が難しくなった。特に新たに始まった外国語活動については、上手く英単語を読めずに自信を失っていた。そこで、KABC-II(9歳8か月)とWISC-V(10歳4か月)を実施した。その結果、同時処理が有意に強く、聴覚ワーキングメモリが有意に弱いことが示された。その結果から、英単語読みを習得するポイントを以下の4点として、英単語読みの長所活用型指導を行った。

- ①英単語の「文字と発音と意味」を同時に提示し、英単語の全体的なイメージを獲得しながら英単語読みができるように支援する。
- ②聴覚ワーキングメモリの弱さに配慮し、英単語の発音を視覚的にカタカナで示す。
- ③フォニックスをできるだけ能動的に活用して英単語読みができるように学習手続きをカードで提示する。
- ④本児の不注意や衝動性に配慮し、ゆとりのある時間設定を行い、活動量を調整する。

その結果、アルファベットに名前と音があることを理解し、基礎的な英単語読みができるようになった。学校でも自信を取り戻して外国語活動に取り組めるようになった。

参加費 : 会員(無料)・非会員(2000円:当日会場でお支払いください)

お問い合わせメールアドレス : 事務局 soumu@k-abc.jp

※会場へのアクセス(地下鉄茗荷谷駅徒歩1分)

- ①茗荷谷駅改札を春日通り側に出る。
- ②茗荷谷駅を背に左側のベージュ色の高層ビルの3階です。(春日通りに面したビル)
- ③春日通り側から1F ローソン横の屋外エスカレーターまたは階段を上がり、屋内エレベーター(1か所)で3階までお越し下さい。